

平成28年度 教育目標の重点努力事項と評価の観点(後期教育評価)

重点努力事項		評価の観点	前期評価	後期評価
豊かな心の育成	○心に響く道徳の授業の充実	・実態や「特別の教科 道徳」の年間指導計画に沿って、子どもの心に響く授業ができたか。	2.86	3.11
		・「熊本の心」等の効果的資料の活用や家庭や地域社会との連携ができたか。	2.57	3.11
	○日常指導の充実	・「玉名学」礼節等を充実させ、気持ちのよいあいさつや正しい言葉遣い、花の世話、無音掃除の指導はできたか。	2.40	3.20
	○自己肯定感の育成	・認め、褒め、励ます指導を行うことで望ましい学級集団づくりができたか。	2.90	3.06
	○児童理解と教育相談の充実	・「豊水小よい子のくらし」を守ることができるための指導はできたか。	2.90	3.20
		・児童や保護者の話をしっかり聞いて対応できたか。	3.00	3.30
	・「タマにゃんチェック」を行い、いじめの早期発見に努めることができたか。	3.11	3.30	
確かな学力の育成	○わかる・できる喜びを味わうための手だての工夫	・年間指導計画に沿った週学習計画を立案し、毎時の目標と評価の一体化をふまえた授業ができたか。	2.75	3.11
		・学習規律の定着のための指導はできたか。	2.70	3.00
		・毎時の展開に徹底指導と能動型学習の場面を明確に位置づけ、目標の実現に向け言語活動の充実をめざした授業づくりができたか。	2.78	2.94
		・グローバル人材の育成に向けて、楽しくエンジョイ・イングリッシュを推進することができたか。	2.75	3.33
		・授業の工夫・改善や県学力調査等の問題を活用して、思考力・判断力・表現力を培う指導はできたか。	2.44	2.94
		・家庭学習の時間[学年数×10倍+10分]を徹底し、家庭学習の習慣化を図る指導はできたか。	2.43	2.78
		・学力充実タイムを計画的に活用し、個に応じた学力の向上に役立てることができたか。	3.22	3.44
	○主体的な調べ学習や読書活動の充実	・全校児童年間(低100冊・中80冊、高60冊)以上の読書を目標に、必読書・推奨書を提示し、読書量を増やす指導ができたか。	2.57	3.20
		・調べ学習等に図書資料を活用し、主体的な学習を推進することができたか	2.63	3.05
	○特別支援教育の充実	・一人一人の教育的ニーズを把握し、そのための手立てをとって指導を行ったか。	3.00	3.25
たくましい心身の育成	○保健指導の充実と健康診断の事後指導の徹底	・健康観察と語りかけにより児童の心身の健康状態をとらえ適切な対処ができたか。	3.00	3.30
		・健康診断の事後指導により、治療を完了させることができたか。	2.22	2.90
		・フッ化物洗口を計画的に実施し、う歯の予防に努めること ができたか。	3.22	3.50
	○体育授業の充実と体力の向上	・めあて学習を通じて、特性にふれる楽しさを味わえる体育授業を展開することができたか。	2.71	3.00
		・外遊びの奨励や夢中になって運動に親しむ体育活動を通じて、体力を向上させる指導はできたか。	2.75	3.00
	○望ましい食育の推進	・衛生チェック、正しい食事のマナー指導や偏食の改善指導を行うことができたか。	2.88	3.11
		・毎日食事をつくっていただく方への感謝の気持ちを育てるための指導はできたか。	3.00	3.22
	○安全に行動する習慣や態度の育成	・危険箇所等を知り、登下校のきまりを守って登下校するための指導はできたか。	3.11	3.10
		・学校内外で安全面に気をつけた生活ができるため危機回避能力の実践的な態度が育つための指導はできたか。	2.78	3.00
		・地域の危険箇所マップを意識させ、日常生活において、安全に生活できる態度を育成できたか。	2.78	2.70
教育環境の充実	○学校版環境ISOの推進	・学年に応じた課題への取り組みを通して、環境にやさしい心を育てるための指導はできたか。	2.67	3.00
		・環境を大切にするために主体的に行動できる実践的な態度を育てる指導はできたか。	2.44	2.78
	○地域とともに花いっぱいの学校づくり	・水かけ、花殻摘み、草取りなど、花の世話の習慣化に努め、花づくりに主体的に関わるための指導はできたか。	2.36	2.78
		・地域の方とともにつくる野菜の栽培や花づくりを通して生命の大切さを教え、自他へやさしく接する指導はできたか。	3.11	3.11
	○言語環境の整備	・言葉に対する理解や感性を深め、温かい言葉かけや校内掲示等の言語環境の整備に努めることができたか。	2.91	3.00
○事務の効率化	・教育目標を達成するため、事務を効率よく行うことができたか。	2.73	2.80	
地域とともにある学校づくり	○小中一貫教育の推進	・有明中校区の共通実践事項を推進し、幼・保等、小、中連携カリキュラムに沿った指導を行ったか。	2.73	3.28
	○学校評価の充実と結果の活用	・活動毎の評価や前・後期の評価を、次の活動や他の活動の改善に適切に生かすことができたか。	2.91	3.10
	○関係機関や保護者・地域との連携強化	・保護者、学校関係者評価委員会等の学校評価の結果をもとに、学校や学級改善に生かすことができたか。	2.91	3.10
		・保護者・地域に対し学校の情報を提供するとともに、学校に対する声や要望等についても積極的に収集し、適切に対応することができたか。	2.91	3.10
教職員の資質向上	○くまもとの教職員像の自覚	・必要に応じて、学校外の関係機関との連絡・協議等を適切に行うことができたか。	3.00	3.22
		・研究授業等に積極的に取り組み、実践的指導力の向上に努めたか。	3.00	3.28
	○教育者としての使命感と不祥事の根絶	・報告、連絡、相談を行い、協力し合って組織的に課題に対応することができたか。	3.17	3.00
		・全体の奉仕者としての使命感と情熱をもち、課題に立ち向かうことができたか。	3.00	3.09
	○人権意識や人権感覚の高揚	・不祥事防止のための意識を高め、具体的な取組をすることができたか。	3.17	3.27
	・児童一人一人の人権に配慮した言動ができたか。	3.00	3.09	
	・参加体験型等の手法を取り入れ、年間指導計画に沿った人権学習の授業ができたか。	2.88	3.11	